

(一般社団法人) 日本繊維機械学会
繊維リサイクル技術研究会

第105回情報交換会

～下水汚泥の固形燃料化技術にヒントを得る～

日時：2013年11月15日（金）14：30～17：00

場所：京都工芸繊維大学工織会館
（京都市左京区松ヶ崎御所海道町）

<http://www.kit.ac.jp/02/matugasaki.html>

<http://www.kit.ac.jp/01/gakunaimap/matugasaki.html>

（“京都工芸繊維大学・未利用資源有効活用研究センター”との合同開催）

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。下記の通り情報交換会を開催します。今回は燃料化技術に着目し、研究会会員企業である福井資源化工（株）様が取り組んでおられる下水汚泥の固形燃料化技術について話題提供していただきます。また、本研究会の素材メーカー繊維製品リサイクルWGの調査結果についても概説していただきます。

万障お繰り合わせの上、参加していただき、繊維リサイクルの発展について熱く語り合っていたいただくと幸いです。なお、準備の都合上、参加の有無を11月11日（月）までに木村宛（FAX:075-724-7863 E-mail:tkimura@kit.ac.jp）、ご連絡いただくと幸いです。会員外の参加も歓迎しますのでお知り合いの方々もお誘いください。

敬具

14:30～14:40

開会挨拶

木村照夫（研究会委員長/センター長）

講演1（14:40～15:10）：「素材メーカー繊維製品リサイクルシステムの連携の可能性について」
（素材メーカー繊維製品リサイクルWG 調査経過報告）

大橋庸二 氏（WG 委員長、東レ株式会社）

講演2（15:30～16:30）：「発酵乾燥で下水汚泥を固形燃料に」

大家清紀 氏、藤井直幸氏（福井資源化工株式会社）

報告事項(16:30～17:00)

懇親会(17:30～19:00 頃)（場所：未定、大学近辺）

参加費：情報交換会：無料、懇親会：3000円

以上